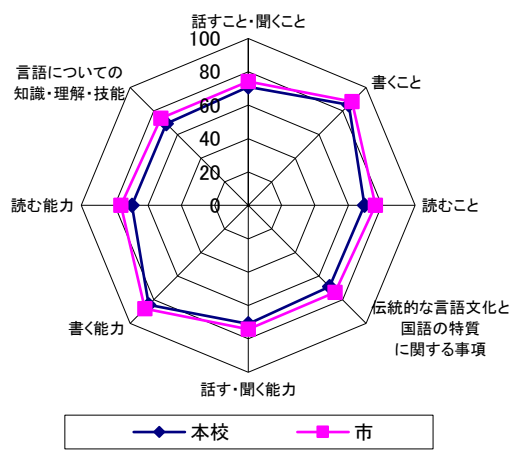


宇都宮市立田原中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	71.0	74.2	68.8
	書くこと	85.3	88.0	73.8
	読むこと	69.7	76.2	71.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.9	73.6	68.8
観点別	話す・聞く能力	71.0	74.2	68.8
	書く能力	84.2	87.5	73.8
	読む能力	69.7	76.2	71.7
	言語についての知識・理解・技能	69.4	74.0	68.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本校の正答率は71.0%で、他自治体と比べ2.2%上回っている。 ○「話の内容を正確に聞き取る」問題では、本校の正答率は68.0%であり、市の正答率より1.7%、全国より6%も上回った。 ●「聞き手に理解してもらうための話し方の工夫」に関する問題では、市や全国の正答率を大幅に下回った。	・定期的に「聞き取りテスト」を実施し、内容や目的に合った聞き取り方を学習させていく。 ・授業内で話す・聞く時間を多く設けることで、自分の意見を分かりやすく伝える工夫や、相手の話を評価しながら聞く力を育てていく。
書くこと	○本校の正答率は85.3%で、他自治体と比べると11.5%も上回っている。 ○「3段落構成で文章を書くこと」問題では、市の正答率と同じであり、全国の正答率より17.9%も上回った。 ●「自分の考えを明確に書く」問題では、市の正答率より4.4%下回った。	・これからも構成を意識させた作文指導に努める。また、生徒の書くことに対する苦手意識を和らげるためにも、モデルを提示したり、明確な手順を教えたりと、工夫をしていきたい。 ・自分の意見や考えに対する根拠を述べられるように、文章化する演習や添削の学習活動を多く取り入れていく。
読むこと	●「登場人物の心情をとらえる」問題においては、市の正答率より3%、全国の平均より0.2%下回っている。 ●「文章の展開に即して内容をとらえる」問題においても、市と全国の正答率を大きく下回っている。	・登場人物の心情や文章の展開などに焦点を当てながら、読解問題に取り組ませる。また、登場人物の関係や、登場人物の特徴にも注意して指導していく。 ・読書活動の推進を図り、読書を通して心情の読み取りや場面の展開に即して読み深める力を高めさせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の書き取りの問題は、どの問題も全国正答率を上回っている。 ●漢字の読み取りは高い正答率ではあるが、市や全国と比べると下回っている問題もある。 ●「助詞」についての問題では、市より1.5%、全国より6.3%も下回っている。	・漢字の小テストを継続させ、漢字への関心・意欲を高めていく。また、間違えた漢字については反復練習させることで定着に努めていく。 ・文法の授業では、生徒が主体的に学習できるよう、発問や授業展開を工夫し、ただ教えるだけの授業にならないように努めていく。また演習問題も定期的に行うことで、基礎基本を定着させていきたい。